

2015年度 事業報告書

一般社団法人 CSV開発機構

2015年4月1日～2016年3月31日



CONTENTS

設立の趣旨と目的／役員	01
会員／事業内容	02
年間活動計画	03
2015年度 主要活動状況	06
1年間の活動記録	
[1] 全体セッション	07
[2] 合同セッション	11
[3] CSV大学 in 弘前	12
[4] 視察ツアー	14
[5] 広報・啓発活動	15
[6] 各種連携等	16
[7] 継続中のビジネス・プロジェクト等	17

■ 一般社団法人CSV開発機構の設立の趣旨と目的

一般社団法人CSV開発機構は、CSVをテーマとした「地域の公益と企業益を両立させるCSVサーベイランス研究会」、その産官学連携での発展形である「CSVサーベイランスネットワーク」での活動を踏まえ、CSVによる事業創造・社会課題の解決に向けて本格的な活動を推進するために発足した法人です。

私たちCSV開発機構は、高齢化対応・地域の活性化などの社会課題、気候変動などの環境問題など、さまざまな社会・環境課題を抱える現代社会において、企業がCSR（Corporate Social Responsibility=企業の社会的責任）やISO26000の理念を踏まえつつ、本来の事業展開力を活かした新しいビジネスモデルによって、より良い社会、持続可能な未来を創造していこうというCSVを事業化することを目的とし、その普及と推進に資するものです。

■ 役員（2016年3月31日現在）

理事長	赤池 学	
副理事長	水上 武彦	
専務理事	小寺 徹	
理 事	太田 健	（麒麟株式会社）
	藤中 隆一	（株式会社乃村工藝社）
	反町 雅史	（大和リース株式会社）
	長谷部 直人	（東京書籍株式会社）
	八田 泰秀	（日本ユニシス株式会社）
	平川 健司	（株式会社電通）
	原 以起	（ヤマハ発動機株式会社）
	門脇 伊知郎	（株式会社JTBコーポレートセールス）
事務局長	永山 均	（株式会社a2media）
監 事	岩本 洋介	（三菱地所株式会社）
顧 問	洪澤 寿一	

■ 会員（2016年3月31日現在）

（一般会員）

株式会社a2media	日揮株式会社	川崎重工業株式会社
日本ユニシス株式会社	キリン株式会社	株式会社乃村工藝社
J&J事業創造株式会社	三菱地所株式会社	株式会社JTBコーポレートセールス
ヤマハ発動機株式会社	住友林業株式会社	株式会社LIXIL
大和リース株式会社	株式会社エクスチェンジ	株式会社電通
富国生命保険相互会社	東京書籍株式会社	大日本印刷株式会社
株式会社富山	コドモエナジー株式会社	株式会社伊藤園
キャスレーコンサルティング株式会社		株式会社ジェイアール東日本企画
フューチャーベンチャーキャピタル株式会社		

（特別会員）

青森県庁	弘前市	千葉商科大学
名古屋市（東京事務所）		公益財団法人科学技術広報財団
特定非営利活動法人キッズデザイン協議会		特定非営利活動法人日本ジビエ振興協議会
大東文化大学経営研究所		大阪府（公民戦略連携デスク）

■ 事業内容（2015年3月31日現在）

- ① CSVによる社会課題解決を進めるために必要なビジネスモデル開発を支援する事業
- ② CSVによる社会課題解決を進めるために必要な政策提言を行う事業
- ③ CSVに関わる調査研究事業
- ④ CSVに関わるコンサルティング事業
- ⑤ CSVに関わる受託事業
- ⑥ CSVによる解決を必要とする社会課題の収集を行う事業
- ⑦ CSVによる社会課題解決を進めるために必要なネットワークを構築する事業
- ⑧ CSVによる社会課題解決を進めるために必要な普及、啓発、交流を行う事業
- ⑨ CSVによる社会課題解決を進めるために必要な情報収集・発信を行う事業
- ⑩ その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

年間活動計画

2015年度の当機構の活動は、機構の目的であるCSVビジネスの創造を現実のものとするために、〔1〕全体セッション、〔2〕分科会活動、〔3〕その他活動の3分野で展開する。

〔1. 全体セッション〕

○基本方針

全体を2部構成とし、第1部では、現在進行形の国のビッグプロジェクトについて、そのキーマンをゲストスピーカーとして招聘。その最新動向を 共有し、会員企業のCSVビジネス創造の端緒を探ることを目的として年4回程度の開催を計画する。

また第2部では、第1部のテーマに制限されず、会員企業のCSVに関する取組みやシーズ、課題などについての発表、分科会の進捗報告などのディスカッションの時間として設定する。

○具体的なテーマ設定およびゲストスピーカー候補（案）

新しいビジネス領域における ルール作りの国際戦略について	グローバル化の進展、科学技術の進展による市場環境の変化に伴って高まっている官民協働でのビジネスルール形成への取り組みについて最新動向を共有する。	経済産業省 ルール形成戦略室
オリパラに向けた科学技術 イノベーションの社会実装 計画について	2020年の東京大会の運営に向けて、社会実装が計画されている様々な科学技術イノベーションについて、最新動向を共有する。	内閣府大臣官房 当該タスクフォース 担当審議官
国土強靱化で動き出した 最新プロジェクトの紹介	昨年から動き出している国土強靱化・地方の強靱化に向けて、地方自治体・民間企業が連携して動き出した様々なプロジェクトの最新動向を共有する。	レジリエンスジャパン 推進協議会
スマートコミュニティの 今後の展開について	各地で展開されてきたスマートコミュニティの実証実験が一旦総括される。これまでの実証実験の成果を踏まえての次の構想について最新の情報を共有する。	経済産業省 省エネルギー推進課
交流文化とインバウンド 観光戦略の現在	クールジャパン、ビジットジャパンを中心にインバウンド促進事業が展開されている中、2020年に向けた官民連携の観光戦略について最新情報を共有する。	国土交通省観光庁 日本政府観光局
中小企業ものづくり 基盤整備事業について	「地方創生」を現実的なものとするために必要となる地域の中小企業の復興に向け中小企業庁が展開する基盤整備事業についての最新情報を共有する。	中小企業庁

年間活動計画

[2. 分科会・ビジネス創造]

○基本方針

第1ステップとして、2014年度中の活動でCSVビジネス創出のトリガーを掴むことが出来た案件を中心に分科会を立ち上げる。

2015年度中も事務局および会員企業のおおのの活動の中で、CSV開発機構として会員企業を巻き込んだ動きが有効となる場合、関係者協議の上、適宜分科会・ワークショップを立ち上げ、ビジネスの具体化を進めていく。

○2015年度期首の具体的な分科会テーマ

弘前 CSV モデル事業プロジェクト	CSV大学 in 弘前の第1期の集大成として、弘前の若手経営者とともに、CSV視点で地域産業を活性化する新しいビジネスモデルを具体化する。	主幹：事務局および 乃村工藝社
海の森 プロジェクト	東京湾のゴミの埋め立て地（夢の島）を活用した海上公園の新しい形での運営方法について、CSV開発機構および会員企業群として提案・実現していく。	主幹：乃村工藝社
教育ICT プロジェクト	会員企業・東京書籍が展開する総合教育サイト「Edutown」をプラットフォームとして、キャリア教育・地域資源発掘などに、自治体と企業のCSV連携を狙う。	主幹：東京書籍
ジビエ プロジェクト	NPO法人日本ジビエ振興協議会との連携の下、捕獲から加工・流通・消費までを一気通貫させるビジネスモデルの実現に向け、実証実験をスタートさせる。	主幹：事務局
築館プロジェクト	築館クリーンセンターから会員企業・住友林業への依頼に基づき、築館の里山にCSV発想による新しい誘客・産業装置の創出を目指す。	主幹：住友林業
川内村プロジェクト	原発事故による全村避難からの復興を目指す福島県川内村に工場を設立した会員企業コドモエナジーを中核に復興のシンボルとなるようなCSV連携を具体化する。	主幹：事務局および コドモエナジー

年間活動計画

[3. その他の活動]

○機構の安定的な運営に寄与するため、機構の認知度向上、社会的地位の向上を目指した活動を事務局主導で展開する。

（広報・啓発関連）

- CSV関連書籍・出版企画
- 経営者向けCSV啓発セミナー
- CSVをテーマとしたシンポジウムの企画・実施
- CSVアワードの設計・実施
- CSV先進事例視察ツアーの企画
- FSG（マイケル・ポーター教授）との連携

（事業開発関連－シーズ先導型）

- コンテナ町屋の活用方法開発
- ネピュレ（細胞を破壊せずに作れるピュレの新技术）の水平展開
- 科学館ネットワークを活用した科学教育強化施策
- 地歴（歴史地図重ね合わせコンテンツ）を活用方法開発
- 商店街・公園・緑地の再活性化
- 農山村再生

（事業開発関連－省庁・自治体連携型）

- 地方自治体向け「CSV大学」のプロモート
- レジリエンス（国土強靱化）におけるひとづくりの役割開発
- 女性の社会進出を促進するCSV視点のサービス開発
- 地方・中小企業の育成におけるCSV視点の支援事業開発
- 国産木材の活用促進に向けた支援事業

- その他関連省庁へのネットワーク構築・深耕
- 政策提言・モデル事業提案

CSV開発機構 2015年度 主要活動状況

2015年

04月	[機構運営] [機構運営]	韓国同伴成長委員会 表敬訪問（22日） 理事会（24日）
05月	[講演] [機構運営] [セッション]	千葉商科大学（小寺専務理事）（25日） 定時社員総会及び理事会（28日） 第1回 全体セッション「国際社会におけるルール形成戦略」（28日）
07月	[セッション]	トライセクターコラボレーションで実現するCSVセミナー（10日）
08月	[官民連携] [CSV大学] [機構運営] [官民連携] [官民連携]	弘前市 ヒアリング対応（りんご産業イノベーション）（10日） 弘前 千葉商科大学学生によるフィールドインターンシップ（19-21日） 理事会（27日） 東松島市 訪問（街づくり構想）（26日） 林野庁後援事業「ウッドデザイン賞」創設（31日）
09月	[セッション] [ツアー] [CSV大学] [セッション]	第2回 全体セッション「スマートコミュニティの今後の展開」（2日） 福島県・川内村視察ツアー（16日・17日） 大学生「まちづくりコンテスト」にて千葉商科大学チームが青森県知事賞（14日） CSVコラボレーションワークショップ（25日）
10月	[広報・啓発] [講演] [官民連携]	日経BP・新・公民連携最前線でのCSVコラム連載開始（全12回） 大東文化大学（小寺専務理事）（10日） 東京都海の森倶楽部 植樹イベント参加（24日）
11月	[機構運営] [セッション] [官民連携] [官民連携]	理事会（11日） 第3回全体セッション「地方創生とCSVビジネス」（17日） 東京都海の森倶楽部 次世代育成のための指導者研修会（24日） 東松島市 ハラルセミナー（30日）
12月	[講演]	大東文化大学（小寺専務理事）（19日）

2016年

01月	[官民連携] [CSV大学]	内閣府ヒアリング（ふるさと創生施策関連）（27日） 弘前 めぐみ寿司・試食会（28-29日）
02月	[官民連携] [機構運営] [官民連携]	農水省ヒアリング対応（12日） 理事会（17日） 弘前市 ヒアリング対応（りんご産業イノベーション）（26日）
03月	[講演] [セッション] [セッション]	地方創生・CSV時代の「企業の森づくり」フォーラム（赤池理事長）（1日） 第4回 全体セッション「金融とCSV」（2日） 韓国CSVソサエティー日本視察団対応（24日）

1年間の活動記録

〔1〕全体セッション

第1回 「新しいビジネス領域におけるルールづくりの国際戦略」

2015年5月28日／15:00-18:00 /ノムラスタジオ（乃村工藝社B1F）

講演1

「新思考の通商政策 ルール形成戦略―共通善の実現に向けた戦略的ルールメイクを目指して」

田村 暁彦（経済産業省通商政策局 国際規制制度交渉官）

- 様々な国際ルールにおいて日本が有利になるためには、ルールづくりのプロセスに日本が積極的に関与することが必要である。
- 特に新興国が発展していく過程で直面する社会課題の解決に日本のノウハウは必ず生きてくる。そして、それはビジネスになる。
- グローバルリスクは日本にとってのチャンスと捉え官民一体で取り組んでいきたい。



講演2

「民間からのルール形成への働きかけについて」

朝比奈 一郎（青山社中株式会社 筆頭代表CEO）

- 指導力ではなく初動力。当たり前でないものにチャレンジして当たり前にしていくことがリーダーシップ。ルール形成は、まさにその姿勢が必要。
- 民間主導の政策提言をするには、問題となっている事柄の、どの部分をどのように変えればよいということをきちんと詰めた内容にすることが重要。キーマンに、タイミングよく持込むことが肝要。



1年間の活動記録

〔1〕全体セッション

第2回「スマートコミュニティの今後の展開とCSV」

2015年9月2日／15:00-18:00／日本財団ビル2F（港区赤坂）

キーノートスピーチ

「伝統的なエネルギー政策の先にあるのは何か」

辻本 圭介（経済産業省資源エネルギー庁 省エネルギー対策課長）

- 電力自由化、ガス自由化の中でエネルギーを巡る環境はこれまでにない大きな変化を迎える。
- キーワードは、エネルギーの分散、グリッド化。
IoT・BEMS・HEMSで進展するネットワーク家電化の動きと、デマンドレスポンスによるピークコントロール。
- エネルギーの独立：スマートコミュニティが成立した世界では、新たなサービス提供の基盤につながってくる。



会員企業のミニプレゼンテーション

■ スマートコミュニティに向けての活動と、CSV提言

LIXIL株式会社 ハウジング企画部 部長 吉田 格

まず住宅の断熱性能を上げて、その上での省エネ・エネルギーマネジメント。プラスアルファとして、ヒートショック対策や歩いて健康になる街づくりデザインなどを組合わせて、スマートコミュニティの本格展開に向かっていきたい。



■ 木化営業部の事業について

住友林業株式会社 木化営業部 高増 幹弥

住宅だけではなく、公共施設、商業施設の木造化を推進。国産材の利用が森林整備につながり、エネルギーとしての木質の需給に貢献し、非常時のエネルギーとしての木質確保にもつながられる。



1年間の活動記録

〔1〕全体セッション

第3回「地方創生とCSV」

2015年11月17日／15：00-18：00／商工会館（千代田区霞が関）

講演1

「地方創生・今後の政策展開に関する最新情報と企業に期待すること」

村上敬亮（内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部 事務局参事官）

- 地方創生の肝は仕事づくり。いま始めなければ早晩産業がなくなる。
- ローカルブランディング発想で地域が一体となって取り組むDMO作りやマーケティングやガバナンスなどの経営感覚の導入が必要。

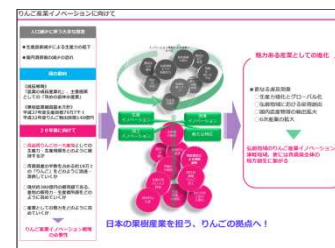


講演2

「りんご産業イノベーションについて」～ 弘前市からの事業協働提案

山本 昇（青森県弘前市 経営戦略部長）

- 市として日本一のシェアを誇る弘前のりんごだが、後継者問題から20年後にはりんごを作る人がいなくなるかもしれないという危機感がある。
- 体力のあるうちにりんご産業のあらゆる局面を見直し、イノベーションを進める。そのために、CSV開発機構・会員企業のご協力を仰ぎたい。



講演3

「東松島が目指す「ソーシャルインパクト」～ 東松島版CCRCまちづくり

石垣 亨（東松島市復興政策部復興政策課兼 主任）

- 震災復興の中、ゼロベースで復興元地の再開発・まちづくりを進めて来ており、民間企業も参加しての事業組成も始まっている。
- 災害元地の開発は自由度が高く、実証実験のフィールドとしても適している。企業の積極的な参画を是非お願いしたい。



会員企業プレゼンテーション

「協創力が稼ぐ時代における地方創生CSV」～ 伊藤園などの事例から

笹谷 秀光（伊藤園株式会社 常務執行役員 CSR推進部長）

- グローバル化、IT化が加速している中、必要なのは共同のプラットフォームを作り、共同の価値を作り、発信し、学ぶことを通じて、「三方よし」を強化していくこと。それが日本型のCSVのあり方。



1年間の活動記録

〔1〕全体セッション

第4回「金融とCSV」

2015年3月21日／15：00-18：00／乃村工藝社 ノムラスタジオ（港区台場2丁目）

講演1

「地域金融機関のCSV」-多摩信用金庫の価値創造事業

長島 剛（多摩信用金庫 価値創造事業部 部長）

- 金融の立場で、市町村をまたぐ地域課題の解決の枠組みづくり
- 支局でリタイアした新聞社のOBたちを巻き込んだ広域広報誌発行
- 各所がばらばらにやっている創業支援窓口の連携サポート
- 各行政に地方創生に絡む補助金の取り方の勉強会を開催
- 多摩地域のコミュニティビジネスを支えるネットワークを構築・拡張中



講演2

「CSVファンドの創設」-新たなビジネスモデルの創造

藤永 裕二（フューチャーベンチャーキャピタル株式会社 執行役員 事業推進部長）

- 地域に強いVCとして「地方創生ファンド」を各地で組成。
- 継続した事業支援が必要であり、そのために大企業も巻き込んだオープンイノベーションを組合わせたCSVファンドの存在意義がある。



会員企業のミニプレゼンテーション

■ オープンイノベーションによる地方創生－まちづくりの共創プラットフォーム

日本ユニシス株式会社 公共第一事業部 グループマネージャー 西村 忠士

まちづくりの共創プラットフォームという位置づけでスタートしたイベント「まちてん」の可能性についてのご紹介。



■ 訪日外国人の農産物のショッピング環境整備による地方創生

株式会社J&J事業創造 開発本部 マネージャー 浅倉 泉

ショッピングツーリズム協会が主体となって試行実験を開始している、訪日外国人向けに農産物のお土産需要を拡大するために「検疫」を代行するサービスについてのご紹介。



1年間の活動記録

〔2〕合同セッション

「トライセクターコラボレーションで実現するCSV」（エコツェリア協会、株式会社クリーン共同企画）

2015年7月10日／15：00-18：00／（3×3 Labo 千代田区大手町 日本ビル）

プレゼンテーション

「Shared Value Leadership Summit 2015でみた経営戦略の新潮流」

水上 武彦（クリーン CSVコンサルタント / CSV開発機構 副理事長）

- 企業のコーポレート戦略におけるCSVの重要性が高まり、競争優位のためにCSVの概念を取り入れる企業が増大している。
- 投資家・金融側にも変化が現れ、「短期利益追求型」ではなく、社会課題解決に関心の高い企業が利益を上げていると考える投資家が増えている。
- もう1つの動きが、トライセクターコラボレーションであり、政府・NGO・企業の相互理解、協力関係構築が重要性を増している。



パネルディスカッション

「トライセクターコラボレーションによるCSV – 公共セクター・民間セクターから企業への期待」

モデレーター 水上 武彦

パネリスト 若井 英二（内閣官房まち・ひと・しごと創生本部 事務局次長）
 中尾 洋三（味の素株式会社CSR部 専任部長）
 高橋 陽子（公益法人日本フィランソピー協会 理事長）
 富野 岳士（NPO法人国際協力NGOセンター事務局次長）



- 立場の違うもの同士が協力するためには、「1つのモノゴトも違う角度から見ると違って見える」ということを理解し、認め合うことができなければいけない。
- 立場の違う人間がコラボレーションするプラットフォームを作り、人々が交流することで、「タコツボ化」し、硬直化した社会を変えていく必要がある。



1年間の活動記録

〔3〕 CSV大学 in 弘前

Program 1 千葉商科大学学生によるフィールドインターンシップ

2015年8月19日－21日／弘前市内各所

- 千葉商科大学人間社会学部で展開されている「地域プロデューサー養成プロジェクト」の一環として学部生が民泊・農業体験・フィールドワークを実施。
- りんご畑やオクラの収穫体験など様々な経験を通じて農家の皆さんと情報交換。得られた情報をもとに、街づくりのプラン策定につなげていきました。



Program 2 大学生「まちづくりコンテスト」への参加・青森県知事賞受賞

2015年9月14日

- 大学生観光まちづくりコンテスト運営協議会が主催する大学生「まちづくりコンテスト」2015にエントリーし、見事青森県知事賞を受賞。
- 提案したプランは、弘前市産のりんごと観光名所の弘前城という2つの地域資源を活用したウェディング。リンゴの花言葉「選ばれた恋」で出会った2人が、400年を超える歴史と崩れたことがない石垣もある弘前城で結婚式を挙げることで、固く長く続く絆を結ぶというのがコンセプト。披露宴の乾杯はリンゴのシードル、アップルパイのウェディングケーキや引き出物、津軽三味線の余興や郷土料理のおもてなしなど、弘前市の産業全体を巻き込んだ内容。



1年間の活動記録

〔3〕 CSV大学 in 弘前

Program 3 「白神めぐみ寿司」開発プロジェクト進捗

■ 2014年度のプログラムにおいてCSV事業開発のパイロットプログラムとして推進が決まった「白神めぐみ寿司」プロジェクトについて、今年度はメニュー開発、体制作り、広報プログラム作りなどを進めてきました。

①メニュー開発とPR用ツールの開発を兼ねた「白神めぐみ寿司」のパンフレット作成。



②「白神めぐみずし」憲章の制定

③地元推進体制立上げ支援・加盟店開発

④プロモーション支援

●Discover Japan による取材アレンジ （編集タイアップによる記事掲載）



●オープニングキャンペーンの企画立案

－首都圏でのメディア向けお披露目会企画立案

－首都圏JRホテルズ連携キャンペーン企画立案

－地元でのPR展開案立案

1年間の活動記録

〔4〕 視察ツアー

福島県・川内村視察ツアー

2015年9月16日-17日

■ 東日本大震災当時一時避難区域指定を受けた福島県・川内村には、会員企業のゴドモエナジー株式会社が復興支援のために自社製品の製造工場を有している。なかなか復興の進まない福島県内の現状の視察と、機構としての復興支援の可能性を探るための視察ツアーを実施した。〔参加者：7名〕

■ 視察プログラム

〔1日目〕

■ 福島原発周辺被災地域視察

■ 福島大学「ふくしま未来学」学生によるフィールドワークの成果発表会参加・意見交換

■ 福島大学「ふくしま未来学」丹波教授・運営スタッフとの意見交換

〔2日目〕

■ 川内村猪狩副村長による現状説明・意見交換

■ 村内施設見学

- － 除染作業員宿舎・応急仮設住宅
- － 村と民間企業のJVによる植物工場「KIMIDORI」
- － ゴドモエナジー・「ルナウェア」工場

■ 除染の現状視察



1年間の活動記録

〔5〕 広報・啓発活動

■ 日経BP社「新・公民連携最前線 PPPまちづくり」にてCSVコラムを連載しました。

自治体関係者を中心に読者層を持つ日経BP社のウェブマガジンに、赤池理事長による連載コラム「地域を元気にするCSV」を掲載しました。（10月から月2回掲載・12回）

- 第1回 CSRからCSVへ、「トヨタ東日本学園」開設の意味
- 第2回 EV観光ステーションによる地域活性化
JTBグループ
- 第3回 「CSV大学」で地域資源ビジネスを創造
弘前市
- 第4回 教育総合サイトに地域コンテンツ
東京書籍
- 第5回 有機茶の「農芸品」開発で自さと地域の競争力を高める、下堂園
- 第6回 CSRを進化させ日本初のCSV本部を発足、キリン（1）
- 第7回 岩手と長野で進行するビールとワインの里づくり、キリン（2）
- 第8回 民間初、三菱地所が再開発で取り組むお濠の浄化
- 第9回 地方都市の遊休地を「コンテナ町屋」で活性化、綿半
- 第10回 茶産地に産業クラスターを形成する
伊藤園（1）
- 第11回 CSV・CSR・EDSの連環で地域に貢献
伊藤園（2）
- 第12回 トヨタ自動車と「木のコンセプトカー」を開発
住友林業



1年間の活動記録

〔6〕 各種連携等

■ 中小企業庁事業「グッド・ビジネス・ニッポン」に協力

2015年7月

大企業等と中小企業・小規模事業者がパートナーとして連携し、地域や社会にとっての新しい価値を生み出すことを目的とした当事業において、プロジェクトエントリー促進などにおいて全面協力しました。



■ 林野庁後援事業「ウッドデザイン賞」創設

2015年8月31日

国産木材の活用促進、適正な森林整備を目的とした「ウッドデザイン賞」が創設され、審査委員長として赤池理事長が就任しました。



■ 東京都 海の森倶楽部会員事業「あおぞらフェスタ2015」に参加

2015年10月24日

「CSVコンセプトで公園運営を」という提案活動の一環として東京都海の森倶楽部に入会していますが、会員事業である「あおぞらフェスタ2015」に参加しました。

■ 東京都 海の森倶楽部 次世代育成のための指導者研修会を開催

2015年11月24日

「CSVコンセプトで公園運営を」という提案活動の一環として、海の森公園を舞台として環境や文化、自然との共生などの気づきを与えるアクティブラーニングプログラムの開発に向けた指導者研修会を開催しました。

■ 韓国CSVソサエティー日本視察団へのレクチャー

2016年3月24日

4月に表敬訪問を受けた韓国同伴成長委員会のご縁で、日本のCSV事情を視察すべく来日した韓国CSVソサエティーの視察団25名に対し、機構の取り組みについてレクチャーを行いました。



1年間の活動記録

〔7〕 継続中のビジネス・プロジェクト等

りんご産業イノベーション プロジェクト	弘前市の基幹産業であるりんごを産業として見つめなおし、生産・加工・流通・消費のすべての分野でイノベーションを起こす。
弘前 CSV モデル事業 プロジェクト	CSV大学 in 弘前の第1期の集大成として、弘前の若手経営者とともに、CSV視点で地域産業を活性化する新しいビジネスモデルを具体化する。
教育ICT(ESD) プロジェクト	会員企業・東京書籍が展開する総合教育サイト「Edutown」をプラットフォームとして、キャリア教育・地域資源発掘などに、自治体と企業のCSV連携を狙う。
和食文化 プロジェクト	世界遺産に認定された日本食のルーツは古来から受け継がれた伝統や文化、日本人として守らなければならないしきたりを後世に受けつないでいく。
CSVファンド プロジェクト	CSV大学の発展形として、地域活性に資する事業を対象としたファンドの組成、運用を検討し、CSVファンドとして導入を具体化する。
海の森 プロジェクト	東京湾のゴミの埋め立て地（夢の島）を活用した海上公園の新しい形での運営方法について、CSV開発機構および会員企業群として提案・実現していく。
東松島市まちづくりプロジェクト	地震・津波により壊滅的な被害を受けた東松島市のまちづくりを行政と企業との連携で行い、包括的な地域ビジョンに基づきトータルプロデュースを行う。
川内村プロジェクト	原発事故による全村避難からの復興を目指す福島県川内村に工場を設立した会員企業コドモエナジーを中核に復興のシンボルとなるようなCSV連携を具体化する。